

# 11月の新着図書

- 『ネット小説の民俗学』  
廣田龍平 (ハヤカワ新書)  
「きたぎ馬」 「ひとりかくれんぼ」等の  
ネット小説にマジレス!!  
日本のネット小説を知りたいはこの一冊。
- 『世べたから考える』  
ブレイディみかこ (ろくまQブックス)  
ブレイディさんの文章、読みたいとばかり  
わいてきます。「自分で靴をはいて  
歩く」ことができるように、きつかり作りの  
この本を開いてみてほしいです。
- 『持続可能な交通まちづくり』  
宇都宮 浄人, 柴山 登佳 (ちくま新書)  
自家用車以外の移動手段の選択肢が増えれば、よりQOLの高い社会になるのではないかと  
「なるほど」と  
読みながら何度もうなずきましたよ。
- 『火つき芋とドーナツ』  
湯澤 規子 (角川書店)  
『女工哀史』に「生身」の女性は  
描かれていない。これまで  
「取り足りないもの」とされていた女性  
たちの日常生活を「取り足りないもの」  
として見つめ直し、いのちをもった本がこれ。

♡ 2025年もよろしくお原頁します♡

📖 図書館職員のかみ

今年の大きな目撃  
だった。「国内の全ラッコ  
(3頭) を見に行く」  
無事に達成しました。  
特にリロさんの担当の  
飼育員さんにはお礼で  
良いものが見られました。

この世界には、まだ発見  
されていぬ動物や生物が  
多く存在する。静岡県、東南  
アジアで全身毛だらけの立派な  
動物が見られ、日本でも猫を  
カマフラに人が写っていた。  
この夜は、恐くて私は猫を  
だいてくれた。

30年放置していた  
ダンバーズウオッチを思  
いついて電池交換した  
ら動いてくれました。  
感謝後ほどなくして  
ネットフリマに出品して  
購入時の高値で売れた。

本を読もう!!  
いつでも本が読めることに  
安心し最近読んだ量が  
減っている...  
読みたい本が目の前にたくさん  
あるという感覚が久しぶりよ。  
その際、私が読んであげた  
いや、読ませた。

鹿児島県立短期大学 附属図書館

電話：099-803-4475 FAX：099-803-4473  
<https://www.k-kentan.ac.jp/library/index.html>



# 県短図書館 通信

令和 6 年 12 月 第 13 号

2025年の県短図書館も  
よろしくお原頁します!!

もうツレ、みなさんの役に  
立つ図書館にしたいなあ...  
というこころで12月待たさい!

🐰 今月のトピックス ↓↓↓  
• イッセイ、その奥深さ。

OPEN →



▶ 今月の特集

「本当は家にこもって猫を撫でていたい。贅沢は言わないから、猫を撫でて年4又500万ぐらいになる仕事はないだろうか。」

誰に对してモフラットで、ちよとネがイロで、加えて「打たれ弱い」と自身を紹介して、著者の岸さんのことが好きになる日記です。

愛猫・おはぎちゃんとのお別れを綴った「おはぎ日記」には愛があふれています。未4はこの本が大好きないろいろな人におすすめしています。  
『にがが日記』岸政考

「コスパとタイパを追求するなら、生まれてこないと一番いい。」

「迷惑とコスパとタイパ」というタイトルの文章の中に出てくる言葉。迷惑も、コストも、時明も、人間が生きていくにはかかってしまうもの。そこを嫌がるのは「ケチ」なことなのではない。ほっとする考え方に角出ることが出来る本です。

『転がる珠玉のように』ブレインみかこ

- 「おえ見こ！」があるから人は連れ立ってどこかへ出かける
- 「まあいいか」が「まあよくない」とフォイスする

日記が書籍化されたもので、↑のようになんかタイトルがついているのだけど、どうなのかな！とつてもおもしろいでしょう。親見子の会話も、思わす声に出したくなるくらい愛おしい。古賀家のことが好きになっちゃうかも。『おとれもど風をせかれ』古賀友子

# エッセイが好きだ!!

エッセイとは、作者の考えを表現したもので、自分と似ている考えに出会って嬉しくなったり、「そんな考えもあるんだ!」と発見したり、いかに残る言葉とともにおすすめの本を紹介し。

「人に迷惑をかけるはいけない」というルールでも  
「お互いに迷惑をかけるのはおとりまえ」というルールでも  
どちらでも世の中は回るんです。たうたら、生きやすい  
「お互いに迷惑をかけるのはおとりまえ」の「まうか」  
いいと思うんですけどね。」

←ご紹介して考え方や通ずる所がわかりますね。私の中の「迷惑」がどんどん変化してきます。  
『当事者対決! いびと体でケンカする』黒木弘樹 横道誠

「では、なぜ人助けをするのかと問われれば、私は「不愉快だから」と答える。」

自分の目に入る範囲内で解決されない問題は起きているのが不愉快だから、自分が不愉快に過剰にたいから、人を助けようとする。

いや、とても良くわかる。でも、そんなことを思ってしまうのは良くないと思ってしまう。それを言語化して、たどり着いた結論に求められた気がするのはいい。『存在の耐えられない愛おしい』伊藤聖和

言売みたいエッセイ、ありませんか?

本の背に見えているバーコードの1段目の数字が (914.6) (916) のものを探して4テウ!!

▶ 図書館からのお知らせ

「ウィンターチャンスくじが」  
「はじまるよ!!」

2025年1月8日(木)スタート!  
3冊本を借りるごとに、1回くじをひくことができます。豪華景品を用意しているのぞ、たくさん借りてきてくださいね。

\* K.L.L.が企画・準備を担当してくれたイベントです。